



## 聖ヤコビ教会へ ようこそ！



ルター派福音教会聖ヤコビ教会は、12使徒の一人であるヤコブから名付けられた。ヤコビ教会は、およそ1360年から1400年ごろライネ川の谷に沿った古い軍事、商業そして巡礼の道の要地に創建された。72mの高さ、272段の階段を持つ教会の塔は、1426年から1433年にかけて建設された。

堂内の**柱の幾何学模様**は、目の錯覚を呼び起こす。この模様は、残っていた古い（1400年ごろ）模様が復活されたものである。見る角度によって上にいくに従って太く見えたり細く見えたりする。

教会入り口の左右に1607年から1774年に作られ教会の床（身廊=中央空間・側廊）に据えられていた六つの**墓石の表面石**が掛かっている。

内陣の主祭壇（1402年作）は、三つの面を持っている。それらは、教会の節季に従って開閉される。内陣の右内側にある木の小さなモデルは、三つの異なった「画面」をよく示している。クリスマス前4週間の精進日と四旬節（復活祭前40日間）に見られる**平日面**は、教会の名義守護聖人ヤコブの物語を現している。クリスマスと復活祭に開かれる**黄金の祭日面**は、使徒や聖人に囲まれた世界の王としての桂冠のキリストとその右のマリアが見られる。その他の日は、受胎告知から昇天までのイエスの生涯を現す**日曜面**が開かれている。

内陣の**ステンドグラス窓**は、1900/01年にハノーファーのヘニング&アンドレス工房で作製された。左から右に、ユダヤの学者たちに聖文字を説明している12歳のイエス、十字架張り付け、キリストの復活後二人の使徒と共にエマウスに行く道中。**南の側廊の窓**は、ハノーファーのラウターバッハ&シュリュエダー工房で1901年に作られた。1529/30年のゲッティンゲンにおける宗教改革の歴史事実を思い起こさせるものである。

北の側廊の現代的ステンドガラスの列は、1997/98年のヨハネス・シュライターの詩編22を表現した設計・制作による。ステンドガラス芸術家が選り絵として表現した詩句は、神に捨てられたこと、死の経験、祈りの聞き届け、教会共同体における神の現存、死者の復活の望である。南の側廊にインフォメーションがあり、現代的ステンドガラスの列一巡が見やすく展示・説明されている。

**説教壇**（1901年）は、使徒とマーティン・ルターに囲まれて、祝福を授けるキリストの彫像が配置されている。石の**洗礼盤**（1643年）は、30年戦争時（1618-1648）盗難にあった銅の聖水盤の代わりと推測される。洗礼盤には、寄進者の名前と家紋が記されている。2014年以來、洗礼盤の横にジェノヴァのヴィンセンツォ・ラゴネ作（1844）の歴史的**イタリア・オルガン**がある。表の出入り口の上にある**大オルガン**は、1966年ゲッティンゲンのパウル・オットーオルガン制作所によって作られ、2006/07年にアルゴイ（南ドイツ）インメンシュタットのジークフリート・シュミットによって修理・増強されている。オルガンは、4段の鍵盤とペダル、68のレギスター（音栓）と4806本のパイプからなっている。

聖ヤコビ教会の**芸術と歴史**についてより詳しくお知りになりたい方には、教会の**案内書**をお勧めします。

私たちの**催し物**についての**最新のインフォメーション**は、雑誌「KIRCHE FÜR DIE STADT（ゲッティンゲン市の教会）」で、またはウェブサイト[www.jacobikirche.de](http://www.jacobikirche.de)か[www.jacobikantorci.de](http://www.jacobikantorci.de)をご覧ください。

毎日曜日午前10時にミサが行われます。

毎金曜日（1月、2月を除く）18時にオルガン演奏を実施しています。

毎土曜日11時30分に教会塔の鐘の演奏、11時45分にトランペットとオルガンの演奏があります。

どうぞ、この説明書は、使用後元の場所にお戻してください。

みな様のヤコビ教会ご訪問を心より感謝いたします。